

## オレンジチームの活動の流れ

地域包括支援センターに相談

初回訪問

医療系職員と介護系職員の2人体制で訪問します。

チーム員会議

専門医を含めたチーム員で必要な医療や介護サービスの検討を行います。また、専門医療機関への受診の必要がある場合には、受診できるよう調整を行います。

必要な支援の実施

会議にて決まった支援方針を実施し、必要なサービスへ結びつけるよう活動します。

チーム員会議

活動の結果をもとに、再度必要なサービスの検討などを行います。

ケアマネジャーなどへの引き継ぎ

主な支援機関へ引き継ぎを行い、オレンジチームの支援は終了します。

**どんな人が  
チームのメンバーなの？**  
チームは、専門医、保健師または看護師などの医療系専門職と、社会福祉士または介

**どっぴった支援をするの？**  
認知症のかたやその家族から依頼を受けたチーム員が自宅を訪問し、認知症の程度の把握や生活状況を確認します。その後、チーム員で会議を行い、必要な医療や介護サービスなど支援の方向性を検討し、

**どんな人でも  
訪問してもらえるの？**  
訪問するかたは次の条件に当てはまるかたになります。  
① 自宅で生活していて認知症が疑われる40歳以上のかた

**オレンジチームってなに？**  
オレンジチームは、認知症が疑われるかたなどの自宅に訪問し、本人の様子確認や家族への助言などの支援をさまざまな面から集中的に行い、自宅での自立生活のサポートを行うチームです。

福祉士などの介護・福祉系専門職で構成されます。専門職3人が1組でチームとなり、認知症のかたとその家族を支援します。

各医療機関と連携して必要な支援を行います。  
介護サービスの導入や専門医への受診につなげ、ケアマネジャー（介護支援専門員）などへの引き継ぎを行い、チームとしての支援を終了します。

**オレンジチームがサポートします!!**  
「認知症初期集中支援事業」  
認知症になっても、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、11月から「オレンジチーム」を地域包括支援センターに設置します。

地域包括支援センター ☎ 29 1182

## ☑ 認知症気づきのチェックリスト

次のような症状にあてはまったら、早めにご相談ください!!

- 財布や鍵など、置いた場所がわからなくなることがある
- 5分前に聞いたことを思い出せないことがある
- 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされる
- 今日が何月何日かわからないときがある
- 言おうとしている言葉がすぐに出てこないことがある
- 預貯金の出し入れや公共料金の支払いが一人でできなくなった
- 一人で買い物ができなくなった
- バスや電車、自家用車などを使って一人で外出ができなくなった
- 自分で掃除機や洗濯機が使いえなくなった

② 認知症のかたで次の状況にあてはまるかた  
・ 認知症の診断を受けていない、または治療が中断している  
・ 医療サービスや介護サービスを利用していない  
・ 認知症の診断を受けたが、介護サービスの利用が中断している  
・ サービスを利用しているが、認知症による症状が強く対応

に困っている  
認知症は、早期診断・早期対応が大切です。早く気づいて対応することで、その後の病気の進行を遅らせることができたり、介護の負担軽減につながるることができます。  
「認知症かな」「認知症と思うけどどうしたらいいんだろう」と思ったら、地域包括支援センターに相談してください。